



楽しみ



丹波山村・2002年村勢要覧



# 丹波山村ライフ

*Beautiful Tabayama Village Life*



山梨県 丹波山村

Tabayama Village, Yamanashi Prefecture





2002  
丹波山村・村勢要覧




## Contents

02 Photo Gallery フォトギャラリー

06 丹波山体験館

- \*村営つり場
- \*そば処 やまびこ庵
- \*丹波山温泉「のめこい湯」
- \*ローラーすべり台
- \*農林産物直売所

10 夏まつり丹波 / 多摩川子どもサミット

12 TABAYAMA TALK 誌上座談会

「丹波山村の自然に学ぶこと」

16 丹波山流 おもてなし

18 時を越えて受け継がれるもの

20 地図で探検



# 楽しき丹波山村ライフ

Beautiful Tabayama Village Life



- 22 人にやさしい自然にやさしい暮らしの基本形  
~生活環境編~
- 24 笑顔ニコニコ元気ハツラツみんなの幸せを応援  
~健康福祉編~
- 26 胸がワクワク心はウキウキいつまでも好奇心  
~生涯学習編~
- 28 自然の恵みを生かしながら  
~地域産業編~
- 30 もっと丹波山村をよくするぞ!  
~議会・行政編~
- 31 発刊に寄せて…
- 32 Photo Essey フォト & エッセイ  
「私と丹波山村」フォトグラファー村松 正文



表紙の写真は「丹波の四季写真コンクール」入賞者の方々の作品です。

(左上から時計回りに)「早春に鳴く」撮影：小林 実 / 「初夏の渓谷」撮影：守屋 喜彦 / 「風舞う秋谷」撮影：本沢 七朗 / 「冬木立」撮影：荒井 隆



# SUMMER



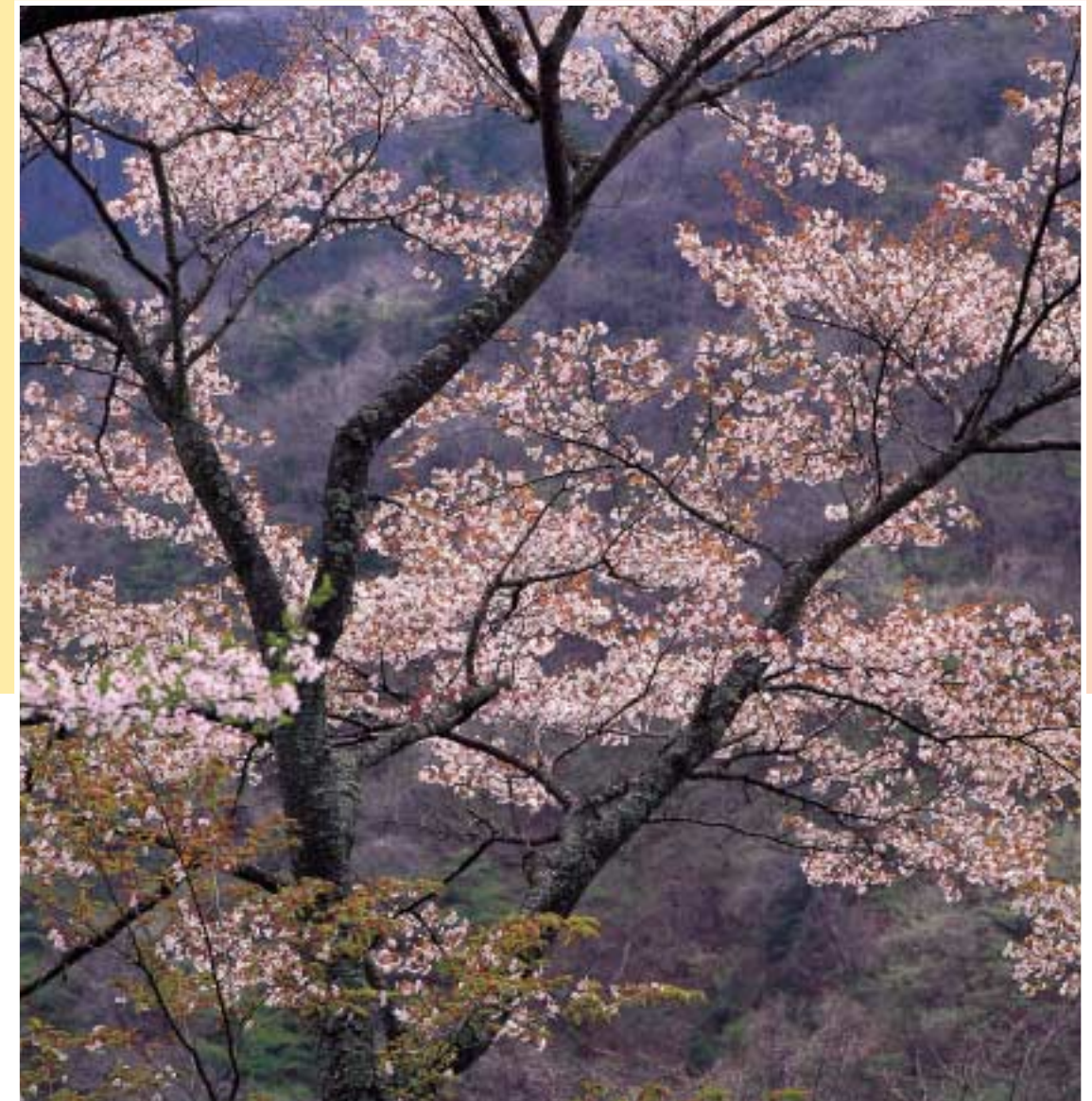
## 緑の渓流に釣る

Mountain Stream Fishing in the Greenery

撮影 / 松原 伝蔵 撮影場所 / 保之瀬

湖の奥の源流峡谷、83歳には無理かと思いながらも、仲間に連れて遅れる吊り橋に着き、緑一色の急流に紅一点の釣人が目に入り、夢中で連写した1枚です。

Photo by Mr.MATSUBARA Denzo



# SPRING

## 山峡の山桜

Mountain Cherry Blossoms in the Ravine

撮影 / 清水 源三 撮影場所 / 所畑

青梅街道沿いに美しい花を咲かせていたこの山桜は、枝ぶりがよく、花もきれいだったので、質感に気をつけてシャッターを押しました。

Photo by Mr.SHIMIZU Genzo



# WINTER



## 雪の溪流

Mountain Stream with Snow

撮影 / 奥富政 撮影場所 / 親川

雪が降ったのでいい風景に出会えるかもしれないと思い、出かけてみました。ここには何回も通っていたのですが、たまたまい瞬間に出会え、ピントが甘くならないように注意しながら撮影しました。

Photo by Mr.OKUTOMI Masashi



# AUTUMN

## 紅葉模様

Autumn Leaves

撮影 / 小峰 賢良 撮影場所 / 鴨沢

四季の自然美を求めて丹波にはよく出かけます。今回、紅葉の落葉がつくる模様が目にとまったので、望遠レンズで高い所から狙ってみました。

Photo by Mr.KOMINE Kiyoshi



# 丹波山 体験館

## ○ 村営釣り場

溪流の里丹波山に来たなら、やっぱり釣りを楽しみたいもの...。清流のせせらぎの中で過ごすひときは、格別の楽しみ。釣りを体験したことがない人や、道具をもっていない人でも、村営釣り場では気軽に挑戦することができます。小さなお子さんと一緒に楽しめます！

## 釣りを楽しもう

緑の自然の中で川のせせらぎを聞きながら楽しむ釣りは、レジャーの王道。世代を問わず人気があります。丹波川の河川敷を利用してつくられた村営釣り場では、初体験の方でも気軽に釣りに挑戦してもらうことができます。釣り場にはニジマスが放流されていて、初心者の方や小さなお子さんも楽しめるようになっ

ています。道具も全て借りることができるので、家族そろってチャレンジしてみたいかができるでしょうか？釣った魚を串に刺して炭火で焼いてもらうこともできます（有料）。川辺で自分たちでバーベキューするなど、楽しさは無限大に広がります。浅瀬では魚のつかみ取りもでき、人気があります。

やったあ！  
釣れたよ！  
すごいでしょ～！



浅瀬で釣り体験



魚がいっぱい



炭火で串焼き



管理事務所前には釣り堀も...



週末は人でいっぱい



釣った魚を川辺でバーベキュー

Fishing is recommended when you come to Tabayama, the village of mountain stream. You can easily enjoy fishing at the village-owned fishing spot.

Everyone likes Yamabiko-an's delicious hand-made buckwheat noodle called "Teuchi-soba." It is hand-made on each morning. "Wasabi" or Japanese horseradish grown in the clear stream also adds deliciousness as a seasoning.

## 美味しくて評判！

リピーターも多い人気のそば処、やまびこ庵。村営釣り場のすぐ側にあり、行楽客をはじめ、東京からやって来る常連さんも少なくありません。お店を切り盛りしている田中さんにお話をうかがいました。

夏場だと5〜600食は出ますね。うちは地粉（丹波山村産のそば粉）を使っていますから、風味があつて美味しいんです。ワサビもネギも地場産で、毎朝、農家からとれたてが届きます。20人座れるか座れないかほどの小さなお店に、お客さんが次から次へとやって来ます。人気の味をぜひおためしください。

みんなで丹精込めて  
つくっています！  
おいしいから  
食べに来てね。



水車で粉を2度びきしています



もちろんそばは手打ち



手慣れた手さばき



水車小屋がシンボル



薬味はもちろん丹波山産のワサビ



外で食べるのも格別



やまびこ庵

やまびこ庵スタッフ（右から）  
田中 芳子さん  
青柳 マツさん  
幸山 美智子さん  
岡崎 みどりさん  
三枝 利枝さん



どぞ召しあがれ

## ○ そば処 やまびこ庵

知る人ぞ知る人気スポットがここ、やまびこ庵。手打ちそばが美味しいと評判のお店です。毎朝、その日にそばを打っています。「のめっこい」のどごしが自慢。丹波山の清流で育ったワサビも人気の理由。本格的に鮫皮でおろしていただきます。





## ○ ローラーすべり台

緑の木々に囲まれた山城がローラーすべり台の出発ポイント。全長247mという巨大なすべり台に、子どもたちはもちろん、大人もついついはしゃいでしまいます。眼下に広がる丹波山の自然に、心も広々…。さわやかな風を体全体で体験してください。



ここがスタート地点



わ~い! 楽しいよ~

**さわやかな風を体験**  
 のめこい湯を塩山市に向かつて少し進むと、緑の山腹にお城がそびえているのが見えてきます。それがローラーすべり台です。自然の地形を生かしてつくられていて、木々をぬうように滑降することができます。近くには丹波山村の歴史や民俗がわかる郷土民俗資料館もあります。

Mountain castle surrounded by the greenery is the starting point of roller slide. Kids and adults very much enjoy the huge slide with total length of approx. 250m.



長い長~いすべり台です

旬の野菜やきのこ、手づくりコロッケも人気



新鮮で安いと評判のようです。それぞれが責任を持って、自信作を持ち寄っています。

直売グループ代表  
守屋 金吾さん



**自慢の品々がズラリ**

新鮮な旬の野菜や林産物が、格安で手に入るということもあって、ここを目当てに立ち寄る方も多い人気の直売所です。朝10時オープンですが、すでにお客さんが待っていることも…。「朝いちばんでここに寄るの。」そんな賢いリピーターもいらっしやいます。並んでいる商品には、値段ととも生産者の名前が書かれています。つくり手の顔が浮かんできて安心感と親近感が持てる、それも人気の理由の一つです。

Direct-selling shop of farm products at the side of Nomekoi-yu's parking lot. Visitors enjoy shopping of fresh vegetables, mushrooms, seasonal nuts, miso, tofu, hand-made croquette, as well as wool yarn dyed with vegetable dyes, etc.



あきる野市からきました!



駐車場からふれあい橋をわたって温泉へ



清流のほとりにあります



明るくて清潔なフロントロビー

## ○ 丹波山温泉「のめこい湯」

川のほとりに立ちのぼる湯気…。青梅街道沿いにある丹波山温泉「のめこい湯」です。駐車場に車を止めると、吊り橋の向こうに温泉が見えます。緑の山々、そして深い渓谷、そんな風情ある環境の中にあるのめこい湯。歩くたびにユラリとゆれるふれあい橋をわたっていざ温泉へ…。



檜の香りが気持ちいい和風風呂



やっぱり露天風呂



Tabayama's hot spring along Ome-kaido is called "Nomekoi-yu." You can see it nearby the river beyond suspension bridge when you park a car at the parking lot. The spring is famous for its excellent hot water.

「のめこい」は丹波山村の方言で、「くるくる、すべすべ」という意味です。名前のとおり、湯上がり後は肌がつるつるになります。ほのかに硫黄の臭いがするお湯で、神経痛や筋肉痛、冷え性や疲労回復にも効果があります。

檜造りの和風風呂と石造りのローマ風呂は、日替わりで男湯と女湯が入れ替わります。露天風呂も人気です。

週末はたくさんのお客さんがいらっしやいます。のめこいお湯が自慢です。ぜひおためしください。

支配人  
坂本 五一さん







夏まつりの「花」といえば、これです。  
夏の夜空を彩る光の花火に、みんなうっとりです。



歌謡ショーやクイズ大会、カラオケ大会など...。  
特設ステージではイベントが盛りだくさん。



かがり火に照らされて、幻想的な雰囲気。  
丹波山村の伝統行事であるささら獅子が披露されました。

水に浮かんだ丸太をわたります。  
バランスをくずすと川にザブン...。  
けっこうむずかしいんです。



木工づくりに夢中。  
ブックエンドやプランターカバーづくりなどに  
挑戦できるコーナーです。



お魚、つかまえたよ！  
魚のつかみどりに子どもも大人も大はしゃぎ。



水しぶきが飛び御興の川渡り。迫力満点！



カヌー体験コーナーです。  
インストラクターが丁寧に教えてくれます。  
初めての挑戦に真剣な眼差し。

# 夏まつり丹波

Summer Festival Taba

Amusement event of Tabayama Village in summer,  
including fireworks, canoe, hand-catching of trout, etc. Everyone smiles under the sun.

丹波山村の夏を盛り上げるイベントです。  
花火やカヌー体験、マスのつかみどりなどなど...。  
輝く太陽の下で、笑顔も光ります。



「水源の原生林探索」  
原生林は天然のダム。清らかで豊富な多摩川の水を生み出す自然の森を探りにきました。



みんなそろって「いただきま〜す！」



千葉大学から留学生のみなさんが参加しました。丹波山の自然を満喫！子どもたちの交流も深まりました。



「水の中の生き物（潜って見つけよう）」  
水中めがねを付けて、水の中の生き物を探してみましょう。川には浅いところもあれば深いところもあるのです。そしていろんな生き物が生息しています。

つかまえた！

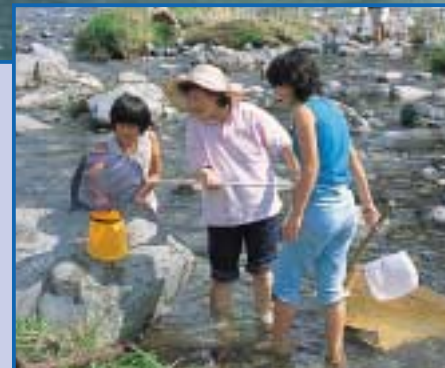


# 多摩川子どもサミット

Tama River Children's Summit

A meeting for children to experience  
the natural beauty of Tama River's source stream  
and learn the importance to protect nature.

多摩川源流の自然の美しさを体験し、そして自然を守ることの大切さを学ぶサミットです。自然の中で楽しく遊びながら、自然のおもしろさ、大切さを知ってもらう取り組みです。村内だけでなく、東京からも子どもたちがやって来ます。



「瀬回りで水族館をつくらう」  
石の下や草の根元を探してみましょう。いろいろな生物がいるはず。みんなでつかまえて、自分たちの水族館をつくってみたい！

「ライフジャケットで川流れ」  
ライフジャケットを身に付けて、川の流のままに流されてみるコースです。意外と早い川の流れに子どもたちもびっくり。



「自然の素材を使ってアートしよう」  
木の葉を使ってハンカチを染めていきます。自慢の作品ができあがりました。



丹波山村ってどんな村？  
山があって川があって、水もおいしくて、空気もきれい。  
村に暮らすみんなの笑顔も夜空に光る星のよう。それからそれから...。  
村人と自然をこよなく愛する面々が集まって、たき火を囲んで  
「丹波山談義」のはじまりはじまり。村の魅力を再発見。

# 「丹波山村の自然に学ぶこと」

湯本 光子  
YUMOTO Mitsuko  
小学校教員 丹波中学校で11年にわたり理科を担当

柴田 尚  
SHIBATA Hisashi  
山梨県森林総合研究所 研究員

川村 協平  
KAWAMURA Kyohei  
山梨大学 教授 教育人間科学部

伴野 英雄  
BAN-NO Hideo  
桜美林大学 助教授 コア教育センター

平田 徹  
HIRATA Tetsu  
山梨大学 助教授 教育人間科学部

三島 次郎  
MISHIMA Jiro  
桜美林大学 名誉教授 国際学部



What kind of village is Tabayama? Mountains, rivers, delicious water, and pure air. People's smile is just like the stars shining in the night sky. And many other attractiveness. People of the village and persons who love nature talk about the village around fire. Now we rediscover attractiveness of the village.

.....丹波山村とのなれその秘話

【三島】私と丹波山村の関係は、調査をおしてはじまりました。珍しい生活を営んでいるウスバアゲハ（注1）というチョウを調査するために、今から20年ほど前に、丹波山村に5年間通い詰めしました。30年前に丹波山村で力を集めてその多様性について研究しました。丹波山村は静かな山村で、心おきなく野外の生物について調査できまして、この自然に感謝しています。それが縁でこのサミットに参加させていただいています。

【平田】山梨大学の教育人間科学部で、教員養成の理科を担当しています。研究領域では丹波山とは縁はなく、海洋に生息している動物や植物などからなる生物群集がいかに安定しているかを研究しています。丹波山村との縁は、大学時代の仲間の一人に山歩きが好きながつがいて、丹波山村にいいパンガローがあるから行こうと誘われたのが最初です。そのとき、動物に育てられる「キマダラリツバメ（注2）」という珍種のチョウを見つけた。これが縁で三島先生の動物生息調査後、そのチョウは県の天然記念物に指定されるに至ったといういきさつがあります。それ以来、三島先生の多摩川流域の自然環境調査をお手伝いをしたという縁にすぎません。

【三島】（笑）すいぶん縁ですよ。キマダラリツバメ、まだいますかね？

【平田】確認はしていませんが桜並木はありませんから、まだ生息しているのではないのでしょうか？

【伴野】キマダラリツバメの幼虫は、桜の木につくアリに育てられているんです。私は、桜美林大学のコア教育センターで生物学を教えています。専門は「虫」でして

丹波山でブナの葉を食べるブナハバチや、桜を食べるサクラスガの研究をしています。丹波山村との縁は、結構古いです。1976年に臨時教師として日川高校に1か月半だけ教えにいらしてました。そのとき、競歩大会のチェック係として丹波山を通過したのが最初で（笑）、その後は多摩川やウスバシロチョウの調査などで何回来たかわかりません。今回は久しぶりで21年ぶりくらいですね。でも昔と変わらぬ山も豊かで水も豊かで、いいところです。

【湯本】私は、高校生の頃に競歩大会とおしていただきました（笑）。山梨大学の学生の頃、両生類の研究が専門で、丹波山村にも調査にいらしてました。それから丹波中学校で11年間、教員として勤務しておりました。ちょうど三島先生が調査に見えられていた頃ですね。丹波山村は知った顔がいっぱい、居心地がいい場所ですね。役場の職員の中にも教え子がいっぱい（笑）。私自身、丹波山ではいい仕事をさせてもらっていました。

【川村】山梨大学の教育人間科学部で教員養成をしています。野外活動が担当で、そのかたわら予防医学の研究チームの中で勉強をしています。運動生理学の内容で、どういった暮らしをすれば元気に暮らせるか、そんな研究ですね。

今の時代に暮らす我々の中で、ちょっとリズムが狂ってきた体とか気持ちとか考え方を、自然の中で暮らすことで元に戻すことができるんじゃないか？そんなことを考えています。友人である浜松大学の人類学の先生と一緒に、アフリカの森で暮らすピグミー族の中で暮らしてみたい。そこへは血液循環の良否を判定する「加速度脈波計」という測定器をもっていきまして、「自然の暮らしをしている人たちは血

(注釈)  
注1 .....ウスバアゲハ / 別名ウスバシロチョウ。ギフチョウなどに近い原始的なアゲハの仲間。県内では4月下旬から7月にかけて見られる。  
注2 .....キマダラリツバメ / 幼虫の時期を、桜の古木に巣をつくるハシブトシリアゲアリと共生するチョウの一種。昭和52年に山梨県の天然記念物に指定。  
注3 .....仙人 / 当時「三条の湯」の小屋番だった岡部さんのこと。現在は奥多摩小屋の小屋番。  
注4 .....キヒダフウセンタケ / ヨーロッパに自生するきのこ。日本では丹波山村の高尾天平（でんでい）で初めて発生が確認された。  
注5 .....プログラム / 毎年8月に行われる多摩川子どもサミットで組まれている自然体験プログラムのこと。

のめぐりがいいんじゃないか」という仮説を検証しようとしています。そういうことをもって、自然の中で暮らすことの大切さを証明したいと思っています。また、小さな子どもたちがいるような力を身に付けるためにはどんな生活をしてほしいのか、丹波などで子どもたちのキャンプをとおして研究しています。

丹波山村との関係は、20年くらい前からなるでしょうか。丹波山の方が山梨大学の社会教育主事の講習会で私のプログラムに参加されたことがありまして、それでオモシロイということになって村に誘われましてね。それ以来毎年です。丹波山の川や沢などでアウトドアアクティビティをするのが仕事だったり楽しんだりしています。

【柴田】山梨県の森林総合研究所の職員です。もともとは植物の病気の研究をしていましたが、山梨でこの研究をはじめた20年です。丹波山村との縁なんです。実は昔から山が好きで、高校生の頃に初めておじゃましました。その頃は柳沢峠までバスもとおってました。簡単に来れましたよ。今の方が大変（笑）。その時に三条の湯に泊まって、「うるせー高校生だ。早く寝ろ。」と仙人（注3）に叱られました。怖くてね、「二度と来るもんか」と思って帰ったんですが、あの頃は丹波山村との縁がこんなふうになるとは思ってませんでした。もっとも今はきのこがとりもつ縁ですが、実は私の本業はシイタケやナメコ、マイタケの栽培法などのマニュアルをつくらしたりするのが仕事なんです。最近は何ん

だかさっかがあるそかに（笑）。

## .....丹波山村の魅力再発見

【柴田】丹波山村の山は比較的東京に近い

割には人が入っていませんから、富士山あたりのきのこは違ってあまり手付かずで残っている。30分ほど登ればいいですし、他の地域との比較調査をするのに貴重な場所。人は親切だし、だんだんはまってしまつて抜けられなく...

【平田】三島先生の動物生息調査でもそうでしたが、ここは生物の多様性が豊かです。

【柴田】いろんなものがあります。対面積当たりの生き物の種類が非常に多いです。高尾天平（でんでい）で僕が発生を確認したキヒダフウセンタケ（注4）は、日本で初めての確認でした。

【平田】バブルが上昇すれば日本は開発され尽くしていきま。その中で自然に手を付けずに残すことは価値観が高い。ここは行政上は山梨県なんです。実際のところ地勢上は東京なんです。

【湯本】そうですね。生活圏としては、

【平田】東京からすぐなのに、これだけ恵まれた環境が残っているんです。これが売り物であって、それなりの貴重な誇りある文化があるんです。

【柴田】それがすごいことだ。これは住んでるとわかつらいかも知れないですが、

【三島】もっといい旅館をつくらう、立派なテニスコートをつくらう、モーターバイクや野球場をつくらう。そうなったときに多くの人は丹波山はおもしろくなくなると言っんじゃないですか？地元にお住まいの方にはご迷惑な話かもしれませんが、しかし、自然こそ丹波山の魅力だと誇りに思っていたらと思えます。口で言うのは簡単。暮らしがありますか？.....「三島君はいつまで俺たちを山の民にしておくつもりなんだ」とおっしゃるかもしれませんね。



13 Beautiful Tabayama Village Life



るのが小中学校の教員の役目だと思っています。  
【伴野】そう、教育のね。ぜひやってほしいですね。地元の学校での理科の教育をとおして、自分の住んでいる場所のすばらしさをまず知ってもらいたい。  
【湯本】潜在的には知っているんですが、  
【三島】湯本先生は中学校で、草木染めの授業を行っていましたね。今でもされている



方がおられるんじゃないですか？(草木染めは)非常に魅力的ですし、この植物を使って見事な作品をつくってらっしゃった。先生が普及されたことが、村の自然の魅力を再発見する大きなきっかけとなったと思います。  
【湯本】丹波の自然を教材の中にとりこむから生かせるか考えまして、草木染めと和紙づくり、陶器づくりを行いました。草木染めは、何を使っても染まるのですが、丹波山ならではワサビですね。子どもたちは非常に意欲的で、「これ染めてみよう、あれ染めてみよう」ともすごい種類の草木を試していました。同じ色はぶたつなくて、山の恵みですね。保護者の方もやってみたいということになりまして、活動が広がっていききました。

【三島】きのこ染めだつてできるんですよ。  
【柴田】そうですね。ロクショウウグサレキン(注7)という青いきのこがありますから。  
【川村】へえ。  
【三島】この付近の人が召し上がらないきこで、おいしいきのこってありますか？  
【柴田】あるんですよ。今日もね、カラカサタケっていうきのこを紹介しました。天ぷらにするのにおいしいんですよ。  
【平田】(村の活性化のためには)人を呼び込まないといけないんですが、あまり呼び込みすぎると環境に悪いし、どうしたらいいか。さつき三島先生がおっしゃったように、昔だったらテニスコートかなんかをつくって大学のテニスサークルを呼んだりしたんでしょうが。(笑)。村を訪れた人に村内で出会ったり発見したいものを、例えば写真や文章で応募してもらって「丹波山にこんないいものみつけー」というのはどうでしょうか？外から見たい面ですよ。ね、そういう情報を蓄積していくんですよ。  
「トングリがあった。よかった」なんてこともかもしないんですよ。

【川村】「心ある人に来てほしい」ですね。選別が難しいんですが、丹波に来ると心ある人になるのかもしれないが、やっぱり心ないことをして帰っていくようであれば、何か少し違うかなという気がします。例えば、村の人たちやこの村を大事に思う人たちが伝えたい部分以外で時間を過ごしてしまうような場合など。  
「ここに来て、心にしみるような何かを感じた人は、また来てください。そうでない人は「ごめんさい」と(笑)。  
【三島】何にもないということば、すばらしいんですよ。人寄せパンダや組織やハードなどをつくったり、温泉が出たというのは何よりなんです。それよりも何よりも

昔ながらの生活があつて、ただありのままの自然がある。これは本当に魅力的なことではないかと思えます。

……「体験すること」の意味

【平田】今の子どもたちはすぐにキレルとか学級崩壊とかいろいろ問題があります。学校にも当然問題があると思うんですが、まず家庭に問題がある。子育てをとおして子どもが大人になる段階でいろいろな体験をしないと次の行動プログラムが開かれない、というのが行動学上の一般的な解釈なんです。例えば子ども頃に動物を殺していけば、その虫はかわいそうだけれども殺してしまえばどうなるかということがかかる。そういう体験をしてみないと、わからない。体験して失敗してみないと考えない。川で遊ぶ山で遊ぶ、自分の五感で体験できるということが、今回のプログラムの一番大きな意味なんじゃないでしょうか。  
【川村】五感を刺激する体験は、今度は直感的な判断能力を培うことにつながっているんですよ。経験が少ないとどうしたらいいかわからないし、難しいことには挑戦しない。ストレスを打ち破ることができない。成熟しきれないまま大人になった大人が増えている原因ではないでしょうか？



【平田】僕の知り合いでね、野外の生き物に対して知らないものは見えない、わからないって言う人がいるんだけど、そうであつたら科学は進歩しないし僕

らの研究も成り立たないんですよ。全くわからないところから発見して、いろいろな生き物に名前を付けてここまで来たんだから。目があつて耳があつて五感を駆使すれば、自然の中で「じっと見てれば見える」これが私の見解でして、そうした体験をしてもらうことが、このプログラムの一番大きな意味だと思つて、丹波山村に来て川の専門家ではありませんが、今日も子どもたちと川に潜りました(笑)。  
【川村】言い過ぎになるかもしませんが、学校では「答え」が要求されますよね。自然界で生きていくということには「答え」がない。自分で見つけていくもんだ。どこが自分にとってよいのか、何が今大事なのか、それを判断する力は異例の中で培っていくものです。乏しい体験だと何が正しいのかわからない。自然ではそれをだましても教えてくれる場所、と言いますから、ヒントがいっぱいある。でもヒントをどうやってつかむかは経験するしかないです。大人が教えるもんじゃありません。人間が「教える」のには限界がある。われわれ大人は伝えることはしますが、それはあくまでもヒントであつて答えではない。答えを見つければ自分自身だし、自然の中にはヒントがいっぱいあるし、答えもいっぱいあるんですよ。  
【湯本】子ども自体は外、好きですよ。  
【平田】今の子どもも、外に出ると疲れるとかかつたるとか、最初は言ったんだけど、外に出ちゃつて楽しくなつちゃつた。基本的に

に自然や生き物は大好きなんです。人間はね。  
【伴野】私の場合は(子どもの頃から)好きでした。春は魚釣り。夏は虫とり。秋はきのこ。小学校時代はそうやって過ごしました。そのまま大人に……。  
【柴田】正統派だ(笑)。湯本先生は子どもの頃から虫類が好き。  
【湯本】両生類ですよ(笑)。カエルとかサシショウウオです。  
【平田】私もやっぱり基本的に好きでしたね。ツマゲロヒヨウモンっていうのもきれいなショウウオがいて、小学校の頃、図鑑に出てなくてすつとなぞだつたんですけど、高校生の頃、立派な図鑑に出ててうれしくて。  
……雲取で、ベースが茶色と紫で、端が黄色いショウウオがいました。あれは……？  
【湯本】キベリですよ。  
【伴野】そう、キベリタテ八ですね。ちょっと今くらいですね。遅いタテ八ですね。  
【柴田】聞いただけでわかつちやうなんて危ない人たちですね。(笑)。  
……最後に丹波山村へメッセージ

【三島】私は村民でも県民でもありませんが、1970年代から丹波山に来てさせてもらつていて、胸を張つて「丹波山に来てください」と言つてくれます。住民の方にもそうであつてほしい。「丹波山には美しい水と空気が、美しい山や川、それ以外何があるというわけはありませんが、それが私たちの誇りです」と、非常に誇らしげに言えるようであつてほしいです。  
【伴野】今ある自然を残してほしいといいますが、お願ひですね。それを誇りにしてほしいです。財産にしてほしいです。もう、それだけです。  
【平田】僕も同じなんです。生態学者ですから自然を大事にしてほしいこと、ここに暮らす人の「よさ」、そして文化を、これを大事にしてほしいと思います。  
【川村】それに加えて、村の方々はすごく色々なことを知つていまして、僕らがここでキャンプしますと、どこからか聞きつけて人が大勢集まるんですよ。いつのまにかいるんですよ。  
……先生方が来られると防災無線で全音に放送されているというワザですね(笑)。  
【川村】(村の人たちは)村の古くからのことや自然について、たくさんいろんなことを知つてらっしゃるんですよ。僕はキャンピングなどで子どもたちに村の雰囲気伝えることはできますが、村の人たちがこの暮らしから学んだ知恵やよさを、ここへ遊びに来た人たちに伝える場があるといいですね。

【湯本】私は研究者ではありませんが、丹波山を大好きな人間として言わせていただくと、自分のふるさとに誇りをもって外に向かって語つてほしいと思います。  
【三島】命あるものとのつきあい」というパンフレットを書いたことがあるんですが、原体験がなくなつてきたでしょ。パッチャルな体験が増えつてしまつて、よくある話ですが、牧場にやつてきた子どもが「あー牛だ。絵に描いてあるのにそっくりだ」と。車や電車、飛行機などの運転操作をシミュレーションできるよつになつて、それを練習すれば本物を動かすことができる。でも大事なことが学べない。失敗したらどうなるか、という緊張感や疑似体験の中にはない。そういう意味では自然の中で多少の危険は伴いますが、原体験を大切にしないといけないですね。  
【川村】川を下るプログラムでは、冒険としての要素がたくさんあるんですよ。危ないことをするということではなく、新しいことやワクワクする何かがあることは、冒険の範疇に入るのではないかと思つてますよ。例えば川を下る、これはめつたにできないですよ。普通はやらせない。でもここではできるんですよ。水がきれいだし場所をしっかりと見極めて命が危ないところをちゃんと見極めておけば、「コロコロしてどつかすつたり足をひねつても死なないわけですから、そういう意味では子どもにとってはワクワクランドです。大人にとっては大したことなくても。丹波山村の魅力や味が子どもたちの中に広がつていると思います。子どもがいろんな感覚器官をきたえていくためには、多様な体験が必要だと思います。  
【平田】僕の知り合いでね、野外の生き物に対して知らないものは見えない、わからないって言う人がいるんだけど、そうであつたら科学は進歩しないし僕



注6……ロクショウウグサレキン / 菌類の一種で、青緑色をしており、着生する材も青緑色に染める。温帯に広く分布。  
注7……丹波時間 / 丹波山村に流れる独特の時間体系のこと。

\*このインタビューは平成13年8月25日丹波山村で行われたものです。



# おもてなし

Hand-made "Konjak"

## 手づくりこんにゃく

Konjak or devil's-tongue is made of konjaku potato and Tabayama's delicious water.

こんにゃくは  
何と言っても  
水が命

丹波山村でつくられてきた昔ながらの手づくりこんにゃく。  
こんにゃくイモを2時間煮込んで、すりつぶしてつくります。  
こんにゃくイモからできることを知らない人も増えた今日このごろ...。  
こんにゃくイモと丹波山のおいしい水から生まれる  
昔ながらのふるさとの味を、  
今一度、見つめ直してみませんか？



料理協力 / 河村み穂子さん・良子さん

### 昔ながらの味わい

昔ほどの家庭でも秋に収穫したこんにゃくイモを使って、自家製こんにゃくをついていたそうです。我が家でも3年前まで、石臼を使ってイモをすりつぶしていました。昔はこんにゃくづくりが盛んで、丹波山村の特産品として出荷されていたそうです。せつかくの味をより多くの人に味わってもらいたいと思います。おばあちゃんに教わりながらこんにゃくづくりはじめました。

(製法は別冊をご覧ください)



こんにゃくイモの収穫は秋。収穫したイモを皮ごとゆでます。アクがきついので2時間ほどかけてゆっくりじっくりゆで上げます。



ゆでたイモの皮をむいて、ぬるま湯を加えながらすりつぶします。ミキサーを使うと便利。よくまぜてから凝固剤(石灰)を入れます。



凝固剤をぬった型に入れます。型がない場合はコロッケをつくるように手でまるくにぎります。手に付かないように凝固剤を付けながらにぎります。



を沸騰した湯に入れてゆでます。丸型のもので約30分ほど。あまりグツグツしすぎないように注意します。



ゆで上がったら水へ。5時間ほど水につけてアクをぬいてからいただきます。冷蔵庫で保存すれば、5日ほどは刺身でおいしくいただけます。





# 時を越えて受け継がれるもの

いつまでも守り伝えていきたいふるさとの祭り。  
親から子へ、子から孫へ...  
そうやって人から人へと守り継がれてきた伝統行事には、  
時代の中で変わることのない、ふるさとへの思いが込められています。



お松焼き（どんど焼き）  
1月14日に行われます。神棚の小松と7日に引いたお松引きの松を燃やします。



(上から) 昔の青梅街道 / 門ノ道神 (カドンドウシン) / 正月飾り / お松引き

Traditional events have been succeeded in Tabayama Village. Representative "Omatsu-hiki" is held in the new year. A sleigh with new-year decoration is pulled to Dosojin or travelers' guardian deity. Also, wooden "Kadondoshin" is decorated until January 15 at the entrance as talisman against evil. In Gion Festival of July, additionally, "Shishi-mai" or lion dance is performed.

丹波山村には、人から人へ代々受け継がれてきた伝統行事があります。  
代表的なものに、正月に行われる「お松引き」があります。1月7日にY字型の木でつくった修羅と呼ばれる木ぞりの上に松の枝を積み上げて、正面に千支を飾り付け、村民総出で道祖神まで引いていくという、全国でもめずらしい丹波山村ならではの行事です。  
また小正月には、カツノキの幹でつくられた門ノ道神（カドンドウシン）が、玄関などに魔除けのために飾られます。  
そのほかにも7月に行われる祇園祭など、古式ゆかしい行事が受け継がれています。



祇園祭 / ささら獅子  
熊野神社の大祭で7月15・16日に近い土・日曜日行われます。獅子3頭と、これを取り巻く花笠のささらが1組となって、お獅子の首に乗って村内の各神社をまわります。



おいらん堂  
武田家全盛期には黒川金山で金の採りが盛んだった丹波山村。このおいらん堂は、武田家滅亡の際、金山の秘密を守るために「おいらん淵」に落とされた、55人の遊女を甲うために建てられたと伝えられています。



郷土民俗資料館  
丹波山村の歴史や昔の暮らしなどが、資料や模型などで学ぶことができます。



# Tabayama Map



ハゲ岩からの眺めはスバラシイ!

東京都最高峰!

シャクナゲ

雲取山(2,018m)

素朴な山小屋の鉱泉です。

青岩鍾乳洞

飛竜山(2,069m)

三条の湯

ヤマメが釣れるし  
渓谷もすばらしいよ

前飛竜(1,954m)

富士山・南アルプスの眺めがスバラシイよ!

七ツ石山(1,757m)

七ツ石小屋

岩岳(1,520m)

熊倉山(1,624m)

ヤマメが釣れます。

至塩山市  
おいらん淵

静かなハイキングコース

後山林道

刀刃尾根

奥秋

小袖

新緑と紅葉が美しい!

ナメトロ

丹波天平(1,343m)

杉奈久保

やまびこ橋(メロディ橋)  
村営つり場  
そば処やまびこ庵

農林産物直売所  
丹波山村役場  
丹波山温泉「のめこい湯」

お祭

国道411号

水車小屋の近くにあるそば処「やまびこ庵」が好評!

水車小屋でそばをひいています。

保之瀬

鴨沢

至奥多摩町

奥多摩湖

泉水谷

新緑と紅葉が美しい!

雄滝・雌滝

高尾天平(1,011m)

ローラーすべり台

新緑と紅葉が美しい!

静かなハイキングコース

鹿倉山(1,288m)

大菩薩嶺(2,057m)

## ●地図で探検●



昔はくねくねとしていた峠道もトンネルの開通でずいぶん便利になりました。



ここに集められた下水は、新たに飲料水となるべく浄化されて川に戻されます。

環境にやさしいリサイクル型の社会をめざして、資源ごみを分別して集めています。



いざというときに備えて...。防災無線は村民の命を守るために欠かせない設備です。

一人ひとりの日頃からの心構えが大事！村民も参加しての防災訓練を実施しています。



As the place of water source, sewage process is carefully executed. Life environment is being improved including road construction, disaster-prevention training, etc., maintaining the great nature.



快適に、そして安心して暮らせるように...。丹波山村では、暮らしの基本形となる生活環境の整備に取り組んでいます。東京都の水源地であることから、下水処理には特に力を入れています。生活道路の整備や、いざという時のために消防や防災訓練を行って、万が一の災害に備えています。豊かな自然を守りながら、さらに暮らしやすい村づくりをめざしています！

人にやさしい  
自然にやさしい  
暮らしの基本形



健康福祉編

丹波山温泉「のめこい湯」の駐車場と同じところにある高齢者生活福祉センターです。



デイサービスセンターでは、高齢者の方々がいきいきと過ごせるようにお手伝いしています！

村民の健康管理をサポートする診療所です。医科と歯科があります。



乳児健診では、赤ちゃんの健康状態や成育状況をチェックします。

保育所の子どもたちは元気いっぱい。心身ともに健康な子育てを支援しています！



Health welfare is being completed in Tabayama Village including "Day Service" for the aged, medical check, and support for parenting.

健康は財産、そして笑顔は宝物。  
丹波山村では村のみんなが元気に、そして笑顔いっぱいに暮らせるように健康福祉の充実に努めています。  
高齢者生活福祉センターではお年寄りのデイサービスを行っています。  
また、ふだんの生活の中から健康づくりに取り組んでもらうために健康教室を開いたり健康診断を行っています。  
元気な子どもの育成も応援しています。



笑顔ニコニコ  
元気ハツラツ  
みんなの幸せを応援



仲間たちと一緒にリフレッシュ！テニスや草野球など、スポーツを楽しむ人がいっぱいいます。



小学校の校舎は自然の中にあり、子どもたちも元気いっぱいに育っています。

小学校の給食風景です。みんなで助け合いながら、楽しく学校生活を送っています！



ニュースポーツのペタンク。スポーツをとおりて健康づくりや交流が広がっています。



同級生の数は少ないけれど、だからこそ伸び伸び、そして密度の高い授業を行っています。



Age for learning is not limited.  
We support all the people  
from children to the aged for well-filled life.



いつでも、どこでも、だれでも。学ぶということに年齢制限はありません。丹波山村では、より心豊かに生きようとがんばる皆さんを応援しています。もちろん、村の未来を背負う子どもたちの教育にも力を入れています。人とのふれあいを大切にしながら、豊かな自然環境を生かし、伸び伸びとした教育を展開しています。

胸がワクワク  
心はウキウキ  
いつまでも好奇心



丹波山村の気候を生かしたそばづくりも盛んです。一面のそば畑はきれいでしょ。



のめこい湯の駐車場わきにある農林産物直売所。新鮮でオイシイと評判です。



健康食品として注目が集まっているマイタケ。オーナー制度による栽培が行われています。

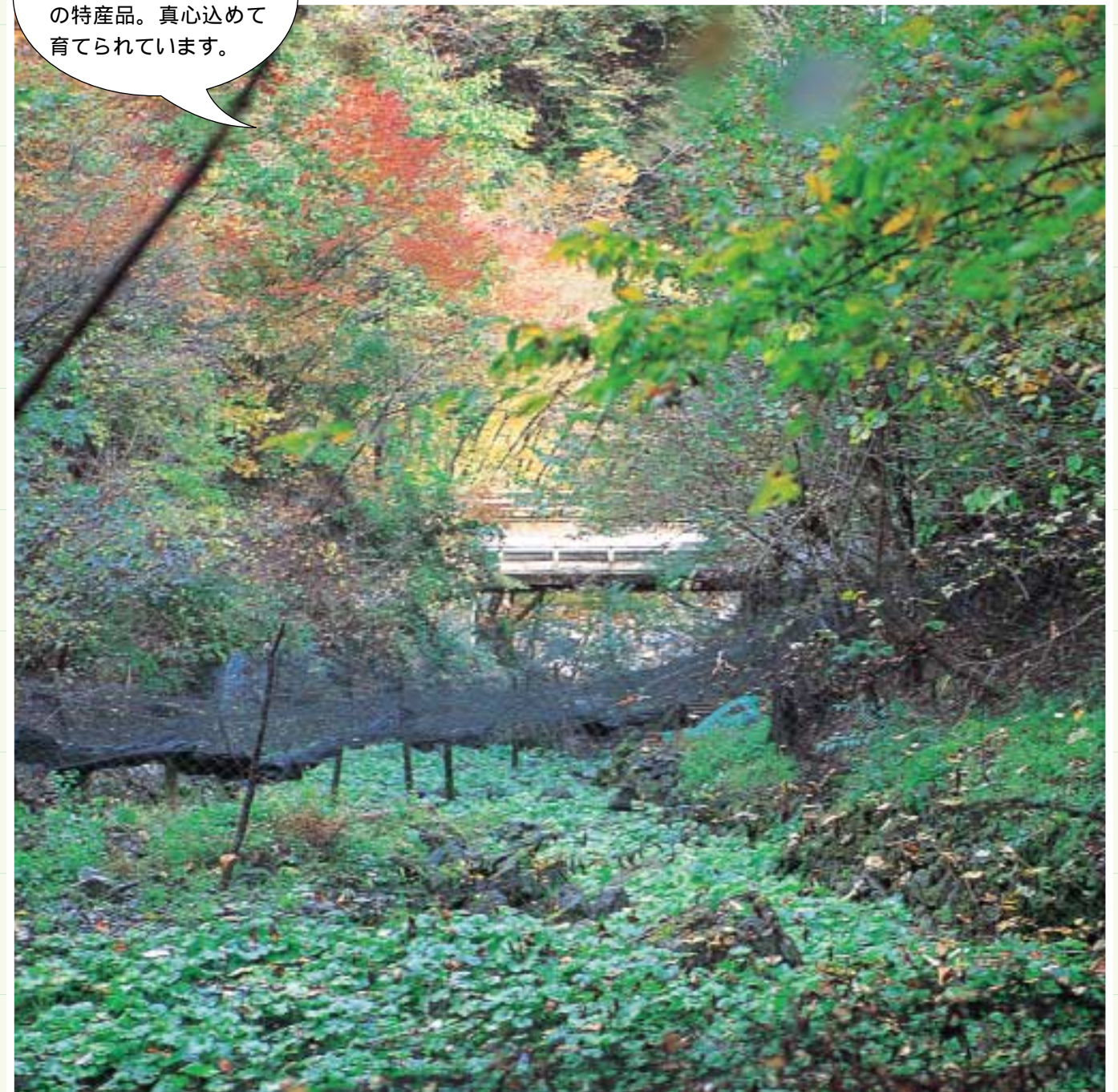


豊かな山を守る意味でも、林業は大切な役割を担っています。

こちらでは、地元の素材を生かしてこんにやくやワサビ漬けが作られています。



ワサビは空気も水も澄んだ丹波山村ならではの特産品。真心込めて育てられています。



Industries with regional characteristics are carried out mainly agriculture and forestry in Tabayama Village.



丹波山村では、農林業を中心に、地域のもつ特性を生かした産業が展開されています。そばやワサビ、こんにやく、じゃがいもなどが生産されているほか、マイタケオーナー制度など、新しい取り組みも行われています。農林産物直売所も、地域の活性化に一役買っています。そのほかにも、工場誘致など、新たな雇用の場創出に取り組んでいます。

自然の恵みを  
生かしながら



発刊に寄せて…

私たちのふるさと、丹波山村は「大きな自然のポケットです。山の山の手、丹波山村」をキャッチフレーズに、多摩川源流の豊かな自然環境、そして歴史文化、人情を背景に、首都圏を始め、多くの人たちから親しまれています。

丹波山村は山梨県の東北端に位置し、東京都奥多摩町と境を接する静かな山村です。全村が秩父多摩甲斐国立公園に位置することから、その四季折々の自然は素晴らしいものがあります。世界都市・東京の水道水源地として、先祖代々、豊かな自然を守り、地域社会に潤いと活力を生み出しながら、育ってきた村です。

環境の時代といわれる21世紀。今、私たちは、ふだん何気なく接している風景、そしてそこに暮らす人々を大切にしつつ、人間性を中心とした、自然と人々が共生できる地球社会を構築するとともに、村の豊かな自然環境を大切に、多くの人々との交流を促進する中で、新しい時代に対応したむらづくりを進めていきたいと考えております。

村勢要覧「楽しみ 丹波山村ライフ」は、これまで丹波山村が成長してきた姿を収録したものであり、今後の村の将来を考えていく資料として、多くの人々に活用されますことを期待します。



平成14年5月  
丹波山村長 守屋武彦  
Takehiko Moriya, Chief of Tabayama Village

With a catch phrase "Great nature's pocket. Tabayama, uptown of the mountain," our home place Tabayama Village is liked by many people including metropolitan area, surrounded by the great nature of Tamagawa's headstream, history and culture, and warm humanity. Tabayama Village is located at north-east edge of Yamanashi Pref., and is a peaceful mountain village next to Okutama Town of Tokyo. The entire village is located in Chichibu Tama Kai National Park, and the seasonal nature is splendid. Tabayama Village has grown as a water source for the world city Tokyo, succeeding the great nature from ancient times and creating prosperity and vitality at the local society.

21st Century, Times of the Environment

We would like to proceed the village planning in accordance with the new times such as maintaining the usual landscape and the people living there, structuring global society with good humanity to coexist with the nature, preserving the great nature, and promoting communication with many people.

Village Guidebook "Beautiful Tabayama Village Life" includes the history of the village, and we expect it will be utilized by many people as the information to consider the future of Tabayama Village.

Takehiko Moriya, Chief of Tabayama Village

村民の代表である村議会議員。住民の声を行政に届けるのが仕事です。



暮らしの相談や住民手続きなど、わからないことがあったら気軽に相談してください！



丹波山村のオフィシャルホームページです。暮らしの情報やイベントガイドなどが満載です！



こちらが丹波山村役場です。明るく豊かな村づくりのためにがんばっています！



選挙で選ばれた村議会議員は村民の代表です。村民生活にかかわる条例の制定や予算を議決しています。また、役場では、安心して暮らせる村をつかっていくためにさまざまな事業に取り組んでいます。

もっと丹波山を  
よくするぞ！

Village assembly decides local ordinances and budget related to people's life.





## 私と丹波山村

平成元年、自然の好きな仲間が集まって、魚や両生類の調査を目的に「やまなし淡水魚研究会」を作った。そのメンバーの1人にカエルやサンショウウオなど両生類の研究をしている丹波中学校教諭の湯本光子先生がいた。先生から丹波川に最近発見されたナガレタゴガエルという新種のカエルがいると聞き、早速見に行くことにする。

晩秋のある日、丹波川の支流に入りいくつか滝を乗り越え、目的のカエルに会いに行った。カエルには会えたが、昼過ぎから降り出した雨が強くなり、谷を下るのは危険なので、尾根まで登って下山する。しかし、稜線に出た時はもうあたりは薄暗く、下るにつれて手探り状態となる。しばらく下って国道を通る車の音が聞こえた時は、全員ほっとして座り込んでしまった。

こんな目に遭いながらも丹波川に通うのは、その時出会った不思議なカエルと産卵のために遡上してくるイワナやヤマメの群を見たかったからだ。翌年からカメラを持って丹波川通いが始まる。水の中だけでなく、来る度に違う顔を見せてくれる渓谷の風景もたまらない魅力であった。

同じ県内でも八ヶ岳山麓に生まれた私にとって、丹波山村は県外と同じくらいの遠い存在であった。現在住んでいる甲府からでも初めて丹波山村に来た時は、ずいぶん遠く感じられたが、今では「ちょっと丹波まで行って来る」という距離になった。実際自分の実家に帰るより、丹波山に来る方が多く、どちらが故郷かわからない。



### 村松 正文

MURAMATSU Masafumi  
Judge of Taba's Four Seasons' Photo Contest

丹波の四季写真コンクール審査員、南アルプス倶楽部会員、日本山岳写真協会会員、山岳写真の会白川峰特別会員、日本高山植物保護協会会員、やまなし淡水魚研究会会員、著書に「山梨の花」「南アルプスの花たち」(山梨日々新聞社発行)ほか多数。

Tabayama Village and I  
"Yamanashi Fresh Water Fish Society" is established in 1989, and I first visited Tabayama Village with Ms. Mitsuko Yumoto to see "Nagaretago frog" newly discovered in Taba River. After that, I visit Tabayama to see char and yamame trout more frequently than I go to my home town.



産卵場所に向かって遡上するイワナ  
(11月上旬・丹波川支流で撮影)





# 楽しき 丹波山村ライフ

Beautiful Tabayama Village Life

.....

【丹波山村・村勢要覧】

発行：山梨県丹波山村

〒409-0300 山梨県北都留郡丹波山村890

TEL. 0428-88-0211 / FAX. 0428-88-0207

編集：丹波山村役場 総務課

発行年月：2002年 5 月

企画制作：(株)日本出版 東京支社

E-mail [info@vill.tabayama.yamanashi.jp](mailto:info@vill.tabayama.yamanashi.jp)

URL <http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/>

*The Summary of Tabayama Village*

Published by Tabayama Village / May 2002

890 Tabayama Village, Kitatsuru District, Yamanashi Prefecture

Produced by Nippon Shuppan Co., Ltd, Tokyo Branch